

JSAF 外洋東海第 104 回理事会・第 56 回代議員会議事録

1.開催日時 2024 年 6 月 17 日（月）午後 7 時 00 分～9 時 00 分

2.開催場所 Zoom によるオンライン会議

3.出席理事及び代議員

<理事会>

（本人出席）

大島茂樹、坂谷定生、川合紀行、岩瀬喜貞、三浦信郎、中村 孝、水越英次
結城光広、大橋哲二、

（委任状出席）

奥田義明、坂倉純二

定足数 10 出席数 11（成立）

<代議員会>

（本人出席）

坂口龍哉、坂本欽吾、三浦桂子、永井守久、大島和晃

（委任状出席）

岡 吉樹

定足数 5 出席数 6（成立）

（オブザーバー）

富川則之（監事）

4.議事内容

定刻になったので、大島会長議長となり理事会・代議員会の開会を宣す。

会長挨拶の後、議事録署名人として、岩瀬喜貞、永井守久の両氏を指名後議事に入る。

1) 2023 年度事業報告及び収支決算について

会長命により坂谷専務理事から資料 1, 2, 3 に基づき説明があった。

資料 1 では本年度開催 6 レースの内、初めて五ヶ所湾合同レースが中止となった点や各委員会の実績等について説明があった。

資料 2 では本年度の収支状況についての説明があった。内容はおおむね次の通りであった。レース及び表彰等レース関連については、2,230,000 円の収入に対し 2,723,098 円の支出で 493,098 円の赤字。計測、安全、海事普及の事業では 318,000 円の収入に対し、826,496 円の支出で 508,496 円の赤字（年末パーティーでの支出が影響）となった。

会費等の収入は 1,162,100 円で、会員証の作成費や各負担金及び事務局管理費、交通費等で 2,185,648 円となった。この部分の支出は想定したものである。

他の収入として昨年からの繰越金が 1,731,078 円、パールレース会計からの繰り入れ金 200,000 円があるが、昨年総会で決定した友の会からの 2,000,000 円繰り入れでバランスを取った結果、総収入 7,841,178 円に対し総支出は 5,735,242 円となり、次年度への繰越金は 1,905,936 円となった。

また別会計となっているパールレース会計については資料 3 のとおりで、2023 年度のパー

ルレースが 103,838 円の黒字決算であったので、これまでの資金に加え 1,781,115 円の余裕金を持つに至っている。

2)JSAF 外洋東海友の会 について

次に資料 4 の外洋東海友の会資産については、昨年途中まで SMBC 日興証券で保管していた資金については、本会計への繰り入れ作業に支障が生じるので、解約し三菱 UFJ 銀行に現有の友の会通帳に全額移し替えたことが報告された。その結果現残高は 24,124,797 円となっているとの説明があった。

以上報告があり、先般実施された監査について、資料 5 のとおり、富川監事から報告があった。

これを受けて大島会長から議案 1, 2 について、理事会に対し異議の有無を尋ねたところ、全員異議なく了承されたので、この議案を代議員会に上程し、審議を願った。

審議後、会長から代議員会に対し審査結果を諮ったところ、全員異議なく 2023 年度の事業実績及び収支決算は承認された。

3) 2024 年度における既実施レースの会計報告について

坂谷専務理事から資料 6, 7, 8 により、第 32 回三河湾周遊レース、沖縄-東海ヨットレース、第 1 回武豊・津合同レースの会計報告があった。また、未確定ではあるが、先般開催のエリカカップについては約 10 万円の赤字決算になる旨の報告もあった。

内容については特に質問もなく、了承された。

4) 委員会報告

・計測委員会

川合委員長からカテゴリ-3 の OSR におけるスタビリティの部分で変更があり、今後のレースにおいて、艇種によってはデザイナーの宣誓書が必要となるので注意してほしいという旨の報告があった。

・レース委員会

三浦委員長から次の通り報告があった。

JSAF ではドローンマークの利用について研究をしているようだが、今のところうまく行っていないようだ。ただ、先日も海陽ヨットハーバーにおいてレースに関わってきたところで、沖縄で使ったドローンで試しましたが、少規模での使用は自走なので便利に使えると感じている。今後はこれが標準になっていく気もしている。JSAF のレースマネージメント委員会の中にも研究チームが出来ている。

5) 第 65 回パールレースについて

坂谷実行委員長より次の通り報告があった。

現在公示や五ヶ所の案内等はホームページに掲載済み。今回も前回と同様南伊勢町町民文化会館で艇長会議、前夜祭を開催する。宇治山田駅からのシャトルバスは前回通り、これに加え、町民文化会館と伊勢志摩マリーナ間に 14 時~18 時に限ってシャトルタクシーを

2台配置しピストン輸送を行う。

コースに関しては180マイルに加え、ダブルハンドクラスに200マイルコースを新設した。理由は国際的な動きの中で、世界選手権、オリンピックへの挑戦に前提条件となる200マイル以上のコースを常設するためである。これについては湘南とも共有しており、今回の200マイルコースを参考に次回から200マイルをパールの標準コースとして設定することを実行委員会は考えている。

説明後、実行委員長から理事会としても200マイル設定の方向性について承認をしてもらいたいと提案があり、大島会長理事会に対し諮ったところ特に異議なく了承された。

6) その他

大島会長から今年の秋に開催される外洋艇の世界選手権に外洋東海から邨瀬・高原チームの出場が決定したので、外洋東海としても壮行会を敢行したと考えている。LMYCとの共催で考えているが、開催日は8月3日、4日のいずれかで、詳細が決まれば案内させていただくと発表があった。

以上全議事終了したので、21時大島会長閉会を宣す。

作成者 坂谷定生

議事録署名人 岩瀬喜貞
永井守久